

平成25年

かすみがうら市議会第1回定例会会議録 第5号

平成25年3月27日（水曜日）午前10時00分 開 議

出席議員

1番	川村成二君	10番	鈴木良道君
2番	岡崎勉君	11番	小座野定信君
4番	田谷文子君	12番	矢口龍人君
6番	小松崎誠君	13番	藤井裕一君
7番	加固豊治君	14番	栗山千勝君
8番	佐藤文雄君	15番	山内庄兵衛君
9番	中根光男君	16番	廣瀬義彰君

欠席議員

3番 山本文雄君

出席説明者

市長	宮嶋光昭君	環境経済部長	藤崎宏明君
副市長	石川眞澄君	土木部長	山本恵美君
教育長	菅澤庄治君	会計管理者	吉藤稔君
市長公室長	川尻芳弘君	消防長	井坂沢守君
総務部長	小貫成一君	教育部長	小松崎延明君
市民部長	根本光男君	水道事務所長	貝塚成人君
保健福祉部長	鈴木弘君	農業委員会事務局長	塚本茂君

出席議会事務局職員

議会事務局	局長	土渡良一
〃	局長補佐	君山悟
〃	係長	乾文彦
〃	係長	坂本敏子
〃	係長	杉田正和

議事日程第5号

日程第1 議案第2号 かすみがうら市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の制定について

議案第3号 かすみがうら市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運

- 営に関する基準を定める条例の制定について
- 議案第 4 号 かすみがうら市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について
- 議案第 5 号 かすみがうら市道路の構造の技術的基準等に関する条例の制定について
- 議案第 6 号 かすみがうら市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について
- 議案第 7 号 かすみがうら市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定について
- 議案第 8 号 かすみがうら市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について
- 議案第 9 号 かみすがうら市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について
- 議案第 10 号 かすみがうら市都市公園等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 11 号 かすみがうら市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 12 号 かすみがうら市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について
- 議案第 13 号 かすみがうら市障害者介護認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 14 号 かすみがうら市ペット霊園の設置の許可等に関する条例の制定について
- 議案第 15 号 かすみがうら市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 16 号 かすみがうら市大塚自然体験の森公園の設置及び管理に関する条例を廃止する等の条例の制定について
- 議案第 17 号 教育委員会教育長の給料月額の特例に関する条例の制定について
- 議案第 18 号 かすみがうら市職員の給与の特例に関する条例の制定について
- 議案第 19 号 かすみがうら市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 20 号 かすみがうら市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 21 号 かすみがうら市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 22 号 かすみがうら市学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 23 号 かすみがうら市敬老祝金給付条例を廃止する条例の制定について
- 議案第 24 号 平成 24 年度かすみがうら市一般会計補正予算（第 9 号）
- 議案第 25 号 平成 24 年度かすみがうら市国民健康保険特別会計補正予算（第 4

号)

議案第 26 号 平成 24 年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 3 号)

議案第 27 号 平成 24 年度かすみがうら市下水道事業特別会計補正予算 (第 5 号)

議案第 28 号 平成 24 年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 4 号)

議案第 29 号 平成 24 年度かすみがうら市介護保険特別会計補正予算 (第 4 号)

議案第 30 号 平成 24 年度かすみがうら市水道事業会計補正予算 (第 3 号)

議案第 31 号 平成 25 年度かすみがうら市一般会計予算

議案第 32 号 平成 25 年度かすみがうら市国民健康保険特別会計予算

議案第 33 号 平成 25 年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計予算

議案第 34 号 平成 25 年度かすみがうら市下水道事業特別会計予算

議案第 35 号 平成 25 年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計予算

議案第 36 号 平成 25 年度かすみがうら市介護保険特別会計予算

議案第 37 号 平成 25 年度かすみがうら市水道事業会計予算

議案第 38 号 茨城消防救急無線・指令センター運営協議会の設置について

議案第 39 号 新市建設計画の変更について

議案第 41 号 平成 24 年度かすみがうら市以下補正予算 (第 10 号)

日程第 2 閉会中の所管事務調査について

1. 本日の会議に付した事件

日程第 1 議案第 2 号 かすみがうら市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の制定について

議案第 3 号 かすみがうら市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

議案第 4 号 かすみがうら市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について

議案第 5 号 かすみがうら市道路の構造の技術的基準等に関する条例の制定について

議案第 6 号 かすみがうら市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について

議案第 7 号 かすみがうら市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定について

議案第 8 号 かすみがうら市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に

- 関する基準を定める条例の制定について
- 議案第 9 号 かすみがうら市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について
- 議案第 10 号 かすみがうら市都市公園等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 11 号 かすみがうら市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 12 号 かすみがうら市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について
- 議案第 13 号 かすみがうら市障害者介護認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 14 号 かすみがうら市ペット霊園の設置の許可等に関する条例の制定について
- 議案第 15 号 かすみがうら市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 16 号 かすみがうら市大塚自然体験の森公園の設置及び管理に関する条例を廃止する等の条例の制定について
- 議案第 17 号 教育委員会教育長の給料月額の特例に関する条例の制定について
- 議案第 18 号 かすみがうら市職員の給与の特例に関する条例の制定について
- 議案第 19 号 かすみがうら市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 20 号 かすみがうら市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 21 号 かすみがうら市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 22 号 かすみがうら市学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 23 号 かすみがうら市敬老祝金給付条例を廃止する条例の制定について
- 議案第 24 号 平成 24 年度かすみがうら市以下補正予算（第 9 号）
- 議案第 25 号 平成 24 年度かすみがうら市国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）
- 議案第 26 号 平成 24 年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）
- 議案第 27 号 平成 24 年度かすみがうら市下水道事業特別会計補正予算（第 5 号）
- 議案第 28 号 平成 24 年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 4 号）
- 議案第 29 号 平成 24 年度かすみがうら市介護保険特別会計補正予算（第 4 号）
- 議案第 30 号 平成 24 年度かすみがうら市水道事業会計補正予算（第 3 号）
- 議案第 31 号 平成 25 年度かすみがうら市一般会計予算
- 議案第 32 号 平成 25 年度かすみがうら市国民健康保険特別会計予算
- 議案第 33 号 平成 25 年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計予算

議案第 34 号 平成 25 年度かすみがうら市下水道事業特別会計予算
議案第 35 号 平成 25 年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計予算
議案第 36 号 平成 25 年度かすみがうら市介護保険特別会計予算
議案第 37 号 平成 25 年度かすみがうら市水道事業会計予算
議案第 38 号 茨城消防救急無線・指令センター運営協議会の設置について
議案第 39 号 新市建設計画の変更について
議案第 41 号 平成 24 年度かすみがうら市以下補正予算（第 10 号）

日程第 2 閉会中の所管事務調査について

開 議 午前 10 時 00 分

○議長（鈴木良道君）

おはようございます。

ただいまの出席議員数は 14 名で、会議の定足数に達しております。

よって、会議は成立いたしました。

それでは、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付したとおりであります。

この際、諸般の報告を行います。

初めに、本定例会中に陳情等 1 件を受理し、お手元に写しを配付しておきましたので、ごらんをいただきたいと存じます。

次に、かすみがうら市教育委員会委員長から地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条第 1 項の規定による平成 24 年度教育委員会の運営及び教育委員会の所管する事務事業の点検評価の報告書が提出され、お手元に写しを配付しておきましたので、ごらんをお願いします。

以上で、諸般の報告を終わります。

日程第 1 議案第 2 号ないし議案第 39 号及び議案第 41 号

○議長（鈴木良道君）

日程第 1、議案第 2 号ないし 39 号及び議案第 41 号の 39 件を会議規則第 35 条の規定により一括議題といたします。

ただいまの議題につきましては、平成 25 年度予算等審査特別委員会に付託をしております。

これより委員長の報告を求めます。

平成 25 年度予算等審査特別委員会委員長 小松崎 誠君。

〔平成 25 年度予算等審査特別委員会委員長 小松崎 誠君登壇〕

○平成 25 年度予算等審査特別委員会委員長（小松崎 誠君）

平成 25 年度予算等審査特別委員会の審査の経過並びに結果についてご報告いたします。

本委員会は、平成 25 年 3 月 7 日に付託されました議案第 2 号ないし議案第 39 号、議案第 41 号の 39 件について、3 月 7 日、8 日、11 日、13 日、14 日、15 日、18 日、22 日の 8 日間、市長及び各担当部課長等の説明を求め、慎重に審査を行いました。

審査の結果は、議案第 5 号ないし議案第 16 号、議案第 25 号ないし議案第 30 号、議案第 35 号、議

案第41号の20件は異議なしで可決すべきものと決しました。

議案第2号ないし議案第4号、議案第19号、議案第22号、議案第24号、議案第31号ないし議案第34号、議案第36号ないし議案第39号の14件は異議があり、起立採決の結果、可決すべきものと決しました。

また、議案第17号、議案第18号、議案第20号、議案第21号、議案第23号の5件は起立採決の結果、賛成少数で否決すべきものと決定いたしました。

なお、委員会会議録は作成次第配付いたします。

以上で、平成25年度予算等審査特別委員会委員長報告を終わります。

○議長（鈴木良道君）

以上で委員長報告を終わります。

なお、ただいま議題となっている39件については、議長を除く全議員をもって組織する特別委員会に付託したことから、かすみがうら市議会先例集第108番及び議会運営委員会の決定により、委員長報告に対する質疑を省略いたします。

続いて、議案第2号 かすみがうら市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の制定についての討論を行います。

反対討論の通告がありますので、発言を許します。

8番 佐藤文雄君。

[8番 佐藤文雄君登壇]

○8番（佐藤文雄君）

おはようございます。

議案第2号、反対の立場で討論します。

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律、いわゆる地域改革推進・第2次一括法は、第177通常国会で2011年8月26日、可決、成立いたしました。

日本共産党は、国民の生活と権利に広範囲に影響を与える本法案を、わずかな審議で採決することを批判するとともに、その中身は、1つに、構造改革路線と結びついた自公政権下の地方分権改革推進委員会の勧告をそのまま推進するものであり、2つに、国の責任で守るべきナショナルミニマム、いわゆる国民生活の最低保障、これを社会保障を初め、各分野で放棄し、国民生活を支える行政サービスの後退につながる重大な内容を含んでいるとして反対をいたしました。

今回の地域改革推進・第2次一括法は、これらに関係する法律を一括改正して、基礎自治体への権限移譲と義務づけ・枠づけの見直しと条例制定権の拡大を進めるものであります。

この議案第2号は、地域密着型（29人以下としております）特養施設の市町村独自の基準について、国はこの基準は個室であります。県は独自基準で多床室を可としたことを受けて、当市も「県と同様にした」と答えました。これは個室では利用者負担が高くて、低所得者は利用できないとの切実な声があるための措置ともいえます。しかし一方で、低所得者にもプライバシー保護と居住環境の向上は必要だと考え、私は「低所得者にも個室に入居できるように収入に応じた利用料金にすべきと思うが、利用料金については検討したか」とただしました。しかし、市は「そこまで検討していない」との答弁でありました。今回の議案は、ほとんど現状を追認するも

ので、市の独自基準を検討したものにはなっていないのではないのでしょうか。

よって、この議案には賛成できません。

○議長（鈴木良道君）

以上で、通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ほかに討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第2号の採決を行います。

この採決は起立により採決します。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長報告のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（鈴木良道君）

起立多数であります。

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第3号 かすみがうら市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定についての討論を行います。

反対討論の通告がありますので、発言を許します。

8番 佐藤文雄君。

[8番 佐藤文雄君登壇]

○8番（佐藤文雄君）

議案第3号、この議案についても反対の立場であります。

地域主権改革一括法により、これまで国が定めていた福祉、保健施設などの設備、事業所及び運営に関する基準を地方自治体が条例により定めることになったわけではありますが、私は特に職員の配置基準について、「市の独自基準があるか」とただしました。市は「介護保険法と同様にし、入所者3人に対して職員1名」と答弁をいたしました。

私は、従う基準や標準とすべき基準は最低基準であって、これを上回る市独自の基準を設けることを検討すべきではなかったかと考えます。現場からは「3対1で運営しているところは、ほとんどありません」「2.5対1や2対1の配置をしなければ、お年寄りの安全・安心は担保できません」との配置基準改善の声が出されております。これまでの国の低い基準は、現場の実情に合わず、不十分であります。

自治体に対する中央集権的な統制や監督、関与の仕組みを縮小・廃止し、自治体の自主性が増

すことには賛成であります。しかし、その際、国は自治体に対し、最低基準を引き上げる必要な財源を保障すべきであります。

国が責任を持つべき社会保障について、ナショナルミニマムや標準を定めるとともに、自治体が独自に上乗せできる財源を保障し、自治体が住民の福祉の増進という責務を果たせるよう支援策を講じるべきであります。

以上の立場から、この議案には賛成できません。

○議長（鈴木良道君）

以上で、通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

ほかに討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第3号の採決を行います。

この採決は起立により採決します。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長報告のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（鈴木良道君）

起立多数であります。

よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第4号 かすみがうら市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定についての討論を行います。

反対討論の通告がありますので、発言を許します。

8番 佐藤文雄君。

〔8番 佐藤文雄君登壇〕

○8番（佐藤文雄君）

議案第4号についても反対の立場であります。

この議案も、地域主権改革一括法にかかわるものでありますが、介護予防事業は、介護保険の給付費を抑制することを狙って始まりました。日本共産党は、「介護予防」の名のもとに「軽度」と認定された高齢者から必要な介護サービスを取り上げ、介護が必要な人を制度から締め出すものだとして指摘して反対しました。しかし、この介護予防サービスにかかわる効果的な支援は必要だと考えます。私は、「介護予防のための効果的な支援の方法について、その具体的な内容、

市独自の内容はあるのか」とただしましたが、市は「要支援者に対して、従来どおりの支援内容である」としか答えられませんでした。

以上、この条例について、こういう理由で現状を追認するものでありまして、賛成できません。

○議長（鈴木良道君）

以上で、通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

ほかに討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第4号の採決を行います。

この採決は起立により採決します。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長報告のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（鈴木良道君）

起立多数であります。

よって、議案第4号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第5号 かすみがうら市道路の構造の技術的基準等に関する条例の制定についての討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

賛成討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第5号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第5号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第6号 かすみがうら市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定についての討論を行います。

初めに、反対討論はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

賛成討論はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第6号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第6号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第7号 かすみがうら市移動等円滑化のための必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定についての討論を行います。

初めに、反対討論はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

賛成討論はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第7号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第7号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第8号 かすみがうら市移動等円滑化のための必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定についての討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第8号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第8号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第9号 かすみがうら市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定についての討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第9号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第9号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第10号 かすみがうら市都市公園等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についての討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第10号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第10号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第11号 かすみがうら市下水道条例の一部を改正する条例の制定についての討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第11号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第11号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第12号 かすみがうら市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定についての討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第12号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第12号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第13号 かすみがうら市障害者介護認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例の制定についての討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

賛成討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第13号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第13号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第14号 かすみがうら市ペット霊園の設置の許可等に関する条例の制定についての討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

賛成討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第14号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第14号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第15号 かすみがうら市手数料条例の一部を改正する条例の制定についての討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

賛成討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第15号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第15号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第16号 かすみがうら市大塚自然体験の森公園の設置及び管理に関する条例を廃止する等の条例の制定についての討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

賛成討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第16号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第16号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第17号 教育委員会教育長の給与月額の特例に関する条例の制定についての討論

を行います。

本案に対する委員長の報告は否決であります、会議規則第51条の規定により通告のあった反対討論2件についての順次発言を許します。

8番 佐藤文雄君。

[8番 佐藤文雄君登壇]

○8番（佐藤文雄君）

議案第17号、反対の立場で簡単に討論します。

給料月額10%カットについて、教育長は「議会の決定に従う」と述べました。総務部長は「教育長の給料月額カットは、市長の政策的なものであり、職員給与の削減と連動している」と答えました。私は市職員給与の削減には反対の立場ですので、これに連動する条例には賛成できません。

以上です。

○議長（鈴木良道君）

続いて、発言を許します。

2番 岡崎 勉君。

[2番 岡崎 勉君登壇]

○2番（岡崎 勉君）

私は、議案第17号に対し、反対の立場から討論いたします。

本案は、ことし4月から教育長の給料月額を10%減するものであります。市長独自の削減であります。また、教育長は、教育委員会の事務の執行責任者であり、政治的な立場での職務でもありません。さらには、前回は指摘したように、市特別職報酬等審議会の目的は「第三者機関の意見を聞くことにより、その一層の公正を期す」ことであり、この手続を踏むことが、提案者に求められる責務であります。しかし、この手続さえも得ておりません。

以前、この点について「報酬審議会に諮問する等の手続を踏むべき」と批判する声も掲載された経緯もあります。

これらの点から、議案第17号に対し、反対するものであります。

議員諸侯におかれましては、これまでの採決結果を十分踏まえ、ご賛同いただくようお願い申し上げます。反対討論とさせていただきます。

○議長（鈴木良道君）

以上で、通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第17号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は否決でありますので、原案について採決します。

本案は原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（鈴木良道君）

起立少数であります。

よって、議案第17号は否決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第18号 かすみがうら市職員の給与の特例に関する条例の制定についての討論を行います。

本案に対する委員長の報告は否決であります。会議規則第51条の規定により通告のあった反対討論2件について順次発言を許します。

8番 佐藤文雄君。

[8番 佐藤文雄君登壇]

○8番（佐藤文雄君）

議案第18号 市職員の給与の特例に関する条例の制定について反対の立場で討論します。

当市の人件費は、平成24年度決算見込みでは約36億円、平成18年度が約40億円でありますから、ここ7年間で4億円削減されています。一方で、人員も87人減っております。また、市職員給与も人勧などの影響もあり実質で下がっていると聞きます。

今回の給与削減案は、試算によりますと職員1人当たり年間平均42万4000円、削減額合計2億2900万円です。とてつもない額です。これだけの給与引き下げは、職員の生活を圧迫することは明白ではないでしょうか。市長は殊さら「民間格差」を強調しておりますが、今デフレ不況からの脱却には、働く人の所得をふやす方向に転換することが求められております。

日本共産党は「大企業に貯め込まれている内部留保の1%を取り崩すだけで8割の労働者の賃金が月額1万円引き上げることが可能だ」と国会で追求し、その結果、安倍首相が経団連に「報酬を上げるよう」要請いたしました。その影響もあり、今、民間での賃金引き上げの機運が出てきております。今回の給与削減は、この流れに逆行するものであります。

また、地方公務員の給与削減は、地域の地場賃金引き下げにも連動し、生活保護基準の引き下げとあわせて、国民全体の生活をますます悪化させ、貧困と格差を拡大させるものであります。加えて、職員組合との合意もなされておられません。また、国が地方公務員の給与まで7.8%カットを強要しているのは、地方自治への不当な介入であります。

日本共産党は、22日、衆議院本会議で、地方公務員給与の削減を前提にした地方交付税を一律削減したことについて「前代未聞のやり方であり、断じて許せない」と表明し、「医療、介護、保育、教育など、あらゆる分野で住民生活を支え、被災地でも懸命に奮闘する地方公務員の生計費を乱暴に削るのは間違いであり、政府が唱えるデフレ不況脱却にも逆行する」として反対いたしました。

以上の理由を述べて、今回の第18号に対して反対の討論といたします。

○議長（鈴木良道君）

続いて、発言を許します。

9番 中根光男君。

[9番 中根光男君登壇]

○9番（中根光男君）

議案第18号について反対の立場から討論をいたします。

まず、重要な点は、ことし4月からの職員給与の削減は、国の要請に応じた案でもなく、市長の公約でもなく、市長独自の削減案であるということであります。

また、新市建設計画・変更計画（素案）の財政計画において、本市の人件費の推移は、平成19年度の40億をピークに減少を続け、平成24年度決算予測としては33億であり、7年間で約18%の減であります。約7億もの額が減少しているわけであります。これは、早期退職等の理由により、着実に人件費の削減は進んでいるわけであります。つまり、数字が示すように、地方として明らかに減少傾向であり、自助努力をしているわけであります。

他方、提案要件とも言える最も不可欠な要素である組合との合意形成もなされておらず、提案されている状況であります。

さらには、将来合併した場合の給与格差の点については、合併は近々の見通しが無いから、当面財政負担を軽減するために提案するものだとし、将来を見込んだ人件費のあり方について、全く検討がなされていないことも明らかとなりました。

最後に、かすみがうら市の民意の点から、既に議会リコール運動により、署名が届かないという結論、つまり民意も確認されているため、我々はこの点だけは尊重せねばならないことであると受けとめております。

よって、議案第18号に反対するものであります。

議員の皆様におかれましては、これらの趣旨を勸案の上、ご賛同いただけるよう心よりお願いいたしまして、反対討論とさせていただきます。

以上。

○議長（鈴木良道君）

以上で、通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第18号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は否決でありますので、原案について採決します。

本案は原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（鈴木良道君）

起立少数であります。

よって、議案第18号は否決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第19号 かすみがうら市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定についての討論を行います。

反対討論の通告がありますので、発言を許します。

8 番 佐藤文雄君。

[8 番 佐藤文雄君登壇]

○ 8 番（佐藤文雄君）

議案第19号、これは現給保障の問題でございますが、反対の立場で討論します。

現給保障というのは、2005年人勧の給与制度の大改悪で平均4.8%の給料引き下げが行われました。そのため、新給料が現給料に到達するまで差額を支給することになっていました。

この現給保障を2012年度は2分の1（上限1万円）に減額し、2013年4月に廃止する条例案であります。この人事院の勧告に関し、県人事委員会は「経過措置について廃止を含めてそのあり方について検討を進める必要がある」とし、「廃止」は勧告しませんでした。

地方公務員の平均年間給与は下がり続けており、生活悪化をもたらしております。その上、現給保障は50歳代後半層での賃下げとなっております。当市で影響する職員は年齢構成で49歳から60歳の28人で、その影響額は月額平均5886円となります。公務員のストライキ権の代償措置である約束をはごにするものであり、反対であります。

○議長（鈴木良道君）

以上で、通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第19号の採決を行います。

異議があるため起立により採決します。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長報告のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（鈴木良道君）

起立多数であります。

よって、議案第19号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第20号 かすみがうら市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についての討論を行います。

本案に対する委員長の報告は否決でありますので、賛成の討論から行います。

賛成討論はございませんか。

[「暫時休憩」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

暫時休憩します。

休 憩 午前10時38分

再 開 午前10時38分

○議長（鈴木良道君）

再開いたします。

本案に対する委員長の報告は否決でありますので、賛成の討論から行います。

賛成討論はございませんか。

〔「可決」「否決です」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

否決言いました。

〔「否決だよ。否決って言っています」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

否決って言っています。

賛成討論はございませんか。

〔「反対討論からでしょう」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

反対討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第20号の採決を行います

本案に対する委員長の報告は否決でありますので、原案について採決します。

本案は原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（鈴木良道君）

起立少数であります。

よって、議案第20号は否決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議員第21号 かすみがうら市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定についての討論を行います。

本案に対する委員長の報告は否決ですが、会議規則第51条の規定により通告のあった反対討論2件について順次発言を許します。

8番 佐藤文雄君。

〔8番 佐藤文雄君登壇〕

○8番（佐藤文雄君）

議案第21号 かすみがうら市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について、反対の立場になりますが討論をいたします。

私は、所得制限の撤廃は大賛成であります。しかし、外来自己負担支給の廃止には反対という

立場であります。私は施政方針への質疑で「自己負担支給の廃止になぜこだわるのか」とただしたところ、市長は「乳児から小学校3年生までは、医療機関等での受診から処方箋による薬の受領まで全て無料となり、多受診や乱受診等による医療費の増加が懸念されるね。土浦市等と歩調を合わせ、外来自己負担の助成は廃止すべきだ」と答えました。

中学校卒業までの完全無料化を実施している群馬県では、入院・通院とも医療費の窓口での支払いなし、いわゆる現物支給であります。そして、所得制限なしの制度であります。この所得制限なしの制度は、保護者から大変歓迎され、高く評価されております。群馬県の国保援護課長は「子どもの年齢拡大に際し、救急医療への過度の依存や時間外診療の増加が懸念されたが、国保診療分の時間外受診件数を検証したところ、拡大前の92.7%となり、減少している」答弁しています。群馬県知事は「早期受診により重症化が防止された。結果的に医療費が抑制される。無料化制度は将来にわたり安定的で持続可能な制度として運営していくことが重要」と語っています。

乱受診や多受診等による医療費増加の懸念は要らないわけであり。土浦市と歩調を合わせるのではなく、先進的な子育て支援策として自己負担なしの無料化を進めるべきではないでしょうか。試算によると約1億円の財源で実現できます。私は、中学卒業までの完全無料化の実施を要請して、反対討論といたします。

○議長（鈴木良道君）

続いて、発言を許します。

1番 川村成二君。

[1番 川村成二君登壇]

○1番（川村成二君）

議案第21号 かすみがうら市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について、反対の立場から討論いたします。

議会は、昨年6月に修正を可決し、再議の要求に対し、7月に再可決したことにより、本制度は平成25年1月から開始されております。

その内容については、1つには、中学3年生まで対象者を拡大したこと、2つには、外来自己負担については、マル福制度として市民に定着がなされていることを考慮し、存続としたこと、3つには、今後の医療費の伸びを踏まえ、所得制限を実施することなどにより、市民の生活の実態にきめ細かに配慮したこととあります。

これに対し、市長は、個人のブログにおいて「所得制限を設けたために、実に40%の子どもたちが条例の恩恵から外れてしまうのです」と言い切っておられました。しかし、執行部から提出された資料によると、平成25年3月8日現在で、所得制限を設けた場合でも78%、約8割の方が該当者となるとのこととあります。

そして、可決された修正案の年間実績額は、今後確定するものであり、さらには、それらの今後の伸びも考慮する必要があるため、当面は本年1月から対象者が拡大された現在の制度の確立に全力を挙げるべきだと考えます。

議員諸侯におかれましては、これらの経緯を勘案していただき、ご賛同いただけるようお願い申し上げます。反対討論とさせていただきます。

○議長（鈴木良道君）

以上で、通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第21号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は否決でありますので、原案について採決します。

本案は原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（鈴木良道君）

起立少数であります。

よって、議案第21号は否決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第22号 かすみがうら市学校設置条例の一部を改正する条例の制定についての討論を行います。

反対討論の通告がありますので、発言を許します。

8番 佐藤文雄君。

[8番 佐藤文雄君登壇]

○8番（佐藤文雄君）

議案第22号 かすみがうら市学校設置条例の一部を改正する条例の制定について、反対の立場で討論をいたします。

学校統廃合は、子どもの教育と地域社会の存続の双方にかかわる問題であります。それだけに、子どもを含む住民で統廃合の是非についてよく話し合い、合意を尊重することが不可欠であります。霞ヶ浦地区と千代田地区において懇談会及び説明会参加者人数が極めて少ない状況でありました。廃校となる学校の人口と出席者の割合は、霞ヶ浦地区1.1%、千代田地区1.5%、全体で1.2%であります。地域住民の理解は十分ではないと私は考えます。地域住民の合意は得られたとは言えません。もっと住民から幅広く意見を聞く場を設けるべきではないでしょうか。

小学校の統廃合について、保護者からは「やむを得ない」という声が多いのですが、同時に心配している方が多くいることもわかりました。「スクールバスを出すというが、子どもの安全性は本当に確保できるのか」「一斉下校のため部活動の制限や土日はどうするのか」「部活動で野球をしているが統合したら活動の主体はどうになってしまうのか」等々などであります。そのような大切なことを十分に保護者と話し合っているのでしょうか。また、学校の跡地利活用についても、地域住民との話し合いすらされておりません。学校は、単なる子どもたちの学びの場所だけではありません。どの学校も半世紀以上その地域に存在し、数え切れない人たちを世に輩出し、地域に深く根づく伝統文化や地域とのかかわり合いもあったのではないのでしょうか。地域を無視して進めるなら、地域そのものが壊れてしまいます。そのことについての議論もされているので

しょうか。

霞ヶ浦地区の元学校長であった方からは「予算が少ないから7つの学校を2つに統合するというのは浅はかな政治の論理だ。教育には金がかかるという覚悟をすべきである」「子どもたちの学びを深めるには、できるだけ身近に学校は必要だ」との意見が寄せられました。

私は、学校の統廃合の狙いは、自治体の大リストラであり、教育費の削減にあると考えます。その証拠に「歳入面で、普通交付税が年間約1億1800万円減少。歳出面では、維持管理にかかる費用が年間約9300万円減少、また、耐震及び大規模改修に要する費用が総額で約15億円減少すると見込んでいる」と市長は答弁をいたしました。

加えて、今回の統廃合で学校及び学級数の減によって、教員数が現在272人が統廃合後は191人、何と79人の先生がいなくなってしまうわけであります。人件費は平成25年度が25億2000万円、統合後の試算では18億円ですから、約7億2000万円の削減となるわけであります。まさに教員のリストラであります。このことは教育費を国や県に返上するものであります。WHO（世界保健機構）では、諸調査研究を集約し、学校規模を100人以下とすることを勧告しております。

私は、一人一人に行き届いた少人数学級こそが教育の再生につながるものと考えます。今回の議案は、当市の小中学校の統廃合の突破口になるもので反対であります。

以上、討論とします。

○議長（鈴木良道君）

以上で、通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第22号の採決を行います。

異議があるため、起立により採決します。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長報告のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（鈴木良道君）

起立多数であります。

よって、議案第22号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第23号 かすみがうら市敬老祝金給付条例を廃止する条例の制定についての討論を行います。

本案に対する委員長の報告は否決であります。会議規則第51条の規定により通告のあった反対討論から発言を許します。

8番 佐藤文雄君。

[8番 佐藤文雄君登壇]

○8番（佐藤文雄君）

議案第23号 かすみがうら市敬老祝金給付条例を廃止する条例の制定に反対する立場であります。

敬老との趣旨でこれまで出していたささやかな祝い金。先進的な例として誇るべき施策ではないでしょうか。圧倒的多くの高齢者は少ない年金が現実であります。祝い金の支給廃止は、楽しみにしている高齢者の期待を裏切るものではないでしょうか。

市長は「かわりに敬老祝い品の支給を予定し、予算措置をしている」と言いますが、予算項目を見ますと、その敬老祝い品は、何と消耗品扱いでありました。「事業仕分けや補助金審議会の意見等を受けての判断だ」とも言いますが、市長の独断による措置ではないかと考えられます。市長には、本当に長寿を祝う心があるのか疑うところであります。

よって、廃止する議案には反対であります。

○議長（鈴木良道君）

以上で、通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第23号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は否決でありますので、原案について採決します。

本案は原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（鈴木良道君）

起立少数であります。

よって、議案第23号は否決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第24号 平成24年度かすみがうら市一般会計補正予算（第9号）の討論を行います。

反対討論の通告がありますので、発言を許します。

8番 佐藤文雄君。

〔8番 佐藤文雄君登壇〕

○8番（佐藤文雄君）

議案第24号 平成24年度かすみがうら市一般会計補正予算（第9号）に反対の立場で討論をいたします。

今回の一般会計補正予算（第9号）に、保育所費に公有財産購入費9291万円がありました。市長は「保育所の民営化推進が必要だ。一つの方法としてわかぐり保育所を民間の業者に販売することだ」と述べ、「今、土地は開発基金になっているが、それを一般財源で買い戻し市の普通財産にすれば、施設（園舎）丸ごと販売することができる。その想定の上での準備措置だ」と答え

ております。

私は、保育所の民営化に反対の立場であります。但し、手続上では、保育所民営化計画の見直しのための議論を十分に行い、その変更の上で土地購入がなされるべきではないかと考えます。

よって、この議案には反対であります。

○議長（鈴木良道君）

以上で通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ほかに討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第24号の採決を行います。

異議があるため起立により採決します。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長報告のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（鈴木良道君）

起立多数であります。

よって、議案第24号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第25号 平成24年度かすみがうら市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第25号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第25号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第26号 平成24年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）の討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

続いて、賛成討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第26号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第26号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第27号 平成24年度かすみがうら市下水道事業特別会計補正予算（第5号）の討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

続いて、賛成討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第27号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第27号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第28号 平成24年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）の討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

続いて、賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第28号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第28号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第29号 平成24年度かすみがうら市介護保険特別会計補正予算（第4号）の討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

続いて、賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第29号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第29号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第30号 平成24年度かすみがうら市水道事業会計補正予算（第3号）の討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

続いて、賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第30号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第30号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

暫時休憩いたします。

[小座野議員 退席]

休 憩 午前11時02分

再 開 午前11時11分

○議長（鈴木良道君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

続いて、議案第31号 平成25年度かすみがうら市一般会計予算の討論を行います。

反対討論の通告がありますので、発言を許します。

8番 佐藤文雄君。

[8番 佐藤文雄君登壇]

○8番（佐藤文雄君）

議案第31号 平成25年度かすみがうら市一般会計予算に反対する立場で討論をいたします。

住宅リフォーム補助金の継続や脱原発・東海第二原発再稼働反対の立場から、太陽光発電システム設置費補助金制度の増額、また、放射性物質による健康影響検査費助成金50万円を設けたことは評価されます。

しかし、今回の予算に反対する理由は第1に、市職員給与削減を前提にした予算であるということとあります。

市長は「官民格差」を強調し、市長選挙での公約だとしていますが、施政方針に対する質疑でも明らかにしましたように、人件費総額の削減による行政コストの大幅削減は文書化されておりますが、市職員給与の10%カットは文書化されておられません。私は、官民格差を殊さら強調することによって、市民と職員を対立させるやり方には反対であります。今、日本に求められているのは民間会社で働く人の賃上げであり、派遣など、低賃金の底上げであります。

議案第18号で述べましたが、デフレ不況から脱却のかぎは、働く人々の所得をふやし、経済に元気を取り戻すことであります。賃金を引き上げ、雇用を確保することこそ求められております。公務員に倣えと民間の賃金も下げられたら、暮らしも日本の経済もしばみです。

第2に、小中学校の統廃合にシフトした予算になっていることであります。

議案第22号でも反対理由を述べましたが、将来にわたって教育費が削減されることになることは明らかであります。地域住民の十分な議論と合意のないまま拙速に進めることは将来に重大な禍根を残します。

私は、学校統廃合に力を入れるのではなく、子育てしやすい、かすみがうら市を目指して財政支援をするべきだと思います。一般質問でも強調してきましたが、義務教育費は無償の立場から、小中学校の学校給食費、教材費、修学旅行費など、学校教育の保護者負担を軽減することが必要ではないでしょうか。また、中学卒業までの完全無料化の実施も大事であります。

第3に、補助金削減に問題があるということであります。

敬老祝金を廃止することやシルバー人材センターへの補助金を50万円、一方的に削減したことあります。このことは補助金削減に反対するシルバー人材センターの請願を採択した議会を無視するものであります。さらに、上下水道会計への補助金500万円を削減することにも問題があります。

第4に、大型公共事業を見直し、生活に密着した道路や環境整備にシフトする必要があるということであります。

霞ヶ浦環境センターへのアクセス道路である市道8459号線（加茂・戸崎）改良工事は来年で終了するとしていますが、総工事費7億円もかけた事業であります。本来は市で行う事業ではなく県事業ではないかと思います。私は、市の財政力に見合った生活道路を中心にした維持・修繕などの修繕費の増額、道路維持管理が求められていると考えます。また、流域関連特定環境保全公共下水道整備事業（加茂処理分区）の継続も問題であります。

第5に、当市の農水産事業への対策が不十分だということであります。

当市の農業などにも多大な影響を及ぼすTPPについて、市長は「グローバルなビジネスチャンスとして捉えていただき、それぞれの経営体質の改革をしながら、前向きに取り組んでいただきたい」と述べていますが、TPPに参加すれば、米どころの茨城県では米の生産額は469億円、約49%も減少するとの試算が出ております。当市では、どのように農業を守り、育てていくのか、市独自の具体的な施策が見えておりません。

以上、5点を反対する理由といたしましたが、そのほかには、放射能汚染から子どもと市民及び地域を守る総合対策について、市の対応が不十分だということを指摘しておきたいと思います。放射線対策事業費は減額となっていますが、測定業務委託だけではなく民有地への除染への支援も必要であります。さらに、放射性物質による健康影響検査についても、継続した事業とすることや尿検査への拡大と、また、国が責任を持って実施するよう働きかける必要があると考えます。

さらに、石岡地方斎場組合の新斎場建設について、私はこれまで石岡市染谷中島山への移転建設の問題点を指摘し、移転建設ではなく現斎場での改築を主張してまいりました。今でも私は、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならないという地方自治法第2条14号に違反する行為だと考えております。加えて、その建設負担の財源を合併特例債に求めることは、均衡ある発展という趣旨にも反するものであります。

最後に、基幹系システム等更新、いわゆる自治体クラウドにかかわる債務負担行為についてであります。

この自治体クラウドは、2009年度から2年間かけて、6都道府県、78市町村で総務省が開発実

証実験を行いました。このデータセンターにおける管理は、民間企業が行うことになります。自治体クラウドのシステム開発も企業が行っています。企業の中には外国資本も入っております。自治体クラウドによって住民の個人情報及び行政情報が民間企業の管理のもとに置かれることになります。参入した外国資本が撤退した場合、個人情報などが海外のデータセンターに収納されれば、日本の法律のコントロールが及ばないことも考えられます。自治体クラウドについてメリットばかりが強調されておりますが、個人情報、行政情報が厳格に保護されるのか、そのセキュリティをどう担保していくのか、その対策については何も触れられておりません。国会ではマイナンバー法案の審議が始まりましたが、この番号制度は政府・財界の都合であり、国民は望んでおりません。私は個人情報、行政情報保護の立場から反対であります。

以上、この一般会計予算に対する反対討論といたします。

○議長（鈴木良道君）

以上で、通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ほかに討論はございませんか。

14番 栗山千勝君。

[14番 栗山千勝君登壇]

○14番（栗山千勝君）

一応賛成ということで討論を行いたいと思います。

まず、議会とは何ぞやということで、行政に対する監視、この監視機能を見失ったときに、かすみがうらははどうなってしまうかわかんないというようなことでございます。

けさほど議長のほうから、かすみがうら市議会先例集の108番で、委員長報告に対する質疑は当該委員会に所属する委員は行わないのを例とするということから、委員長報告に対する質疑は先例に従い省略すると、議長の言うことは私は尊重します。しかしながら、会期3日目か4日目の予算案に対する質疑がございました。そのときには質疑を許可するというようなことなんですよ。先例に倣っているのであれば、特別委員会なんだから、これは許可はしないのが普通なんです。

そういうことから、私は特別委員会できました。それはそれに従います。委員会開催されて、やはり一番大事なのは市民の立場になって考える。監視をする。一番これ大事なことです。私は、市長、副市長に出席要求お願いしました。それはなぜかというと、ずいぶん質疑をしてきましたが、最後には全部尻切れトンボ、市長じゃなきゃわかんないと。お粗末なんです、全てが。市長もお粗末。特別委員会開催中に出席要求していながら、私的なこともしているわけです。全く議会も執行部もなってない。お粗末な執行部の答弁であつたけれども、一番困るのは市民です。断腸の思いで賛成します。賛同をお願いします。

○議長（鈴木良道君）

ほかに討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第31号の採決を行います。

異議があるため起立により採決します。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長報告のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（鈴木良道君）

起立多数であります。

よって、議案第31号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第32号 平成25年度かすみがうら市国民健康保険特別会計予算の討論を行います。

反対討論の通告がありますので、発言を許します。

8番 佐藤文雄君。

[8番 佐藤文雄君登壇]

○8番（佐藤文雄君）

議案第32号 平成25年度かすみがうら市国民健康保険特別会計予算に反対をいたします。

私は、応益割の引き上げは当然だとする市長の方針には反対の立場であります。社会保障として、皆保険制度である国保があるわけでありますから、低所得者に重い負担となる均等割については見直しし、もとに戻すべきだと考えております。近隣市並みの国保税に引き下げたとしておりますが、低所得者にとっては引き上げになったことは明らかに「公約違反だ」と言わざるを得ません。短期保険証の発行もうなぎ登りであり、25年度（予定）では加入世帯の16.3%になり、改善が求められています。また、特定健康診査等事業費も25年度予算では前年度比283万7000円減であります。目標を30%としていますが、余りに低いものではないでしょうか。受診率の向上で市民の健康管理を促すことも必要だと思います。

以上、討論といたします。

○議長（鈴木良道君）

以上で、通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ほかに討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第32号の採決を行います。

異議があるため起立により採決します。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長報告のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（鈴木良道君）

起立多数であります。

よって、議案第32号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第33号 平成25年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計予算の討論を行います。

反対討論の通告がありますので、発言を許します。

8番 佐藤文雄君。

[8番 佐藤文雄君登壇]

○8番（佐藤文雄君）

議案第33号であります。平成25年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計予算に反対の立場で討論をいたします。

今回の予算で保険料が増額となったのは、平成24年度から保険料が引き上げられた結果であります。しかし、この後期高齢者医療制度は、保険料が年々上がる仕組みになっています。年金が少なく天引きもできない高齢者にとっては、医者にもかかれない事態が進行しております。当市では、加入者の24%、1256人が普通徴収の対象者であります。いずれにしても、年齢で区切って差別する後期高齢者医療制度は直ちに廃止し、もとの老人健康保健制度に戻すべきだと考えます。以上です。

○議長（鈴木良道君）

以上で、通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ほかに討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第33号の採決を行います。

異議があるため起立により採決します。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長報告のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（鈴木良道君）

起立多数であります。

よって、議案第33号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第34号 平成25年度かすみがうら市下水道事業特別会計予算の討論を行います。
反対討論の通告がありますので、発言を許します。

8番 佐藤文雄君。

[8番 佐藤文雄君登壇]

○8番（佐藤文雄君）

議案第34号 平成25年度かすみがうら市下水道事業特別会計予算に反対の立場で討論します。

特定環境保全公共下水道整備事業費で、今回の加茂地区の管路実施設計業務委託費2268万円が計上されております。前回も反対を表明いたしましたが、費用対効果を検証した結果、この事業が行われたものとは思えません。

平成24年に実施した牛渡・加茂地区の加入促進調査結果でも、「接続の見込みあり」と答えた世帯は、たったの13.4%であります。このような大型公共下水道事業は市の借金をふやすばかりであり、とても環境保全のためとは言えません。

私は、前回も「下水道を整備しているにもかかわらず加入が進まないのは現状を無視した大型公共下水道工事を推進した結果だ」と批判し、「下水道事業で今すぐにでもやらなければならないことは、既に整備した区域における加入の促進である」と提案し、反対いたしました。その立場は今でも、今回も変わりません。一般会計からの繰入金は今でも下水道事業と農業集落排水事業で合計額は8億3000万円を超えております。加入が進まなければ、まさに垂れ流しの状況であります。霞ヶ浦の水質浄化と生活改善にはつながりません。生活排水対策における公共下水道の全面的な見直しを求めて、反対討論といたします。

○議長（鈴木良道君）

以上で、通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ほかに討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第34号の採決を行います。

異議があるため起立により採決します。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長報告のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（鈴木良道君）

起立多数であります。

よって、議案第34号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第35号 平成25年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計予算の討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

続いて、賛成討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第35号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第35号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第36号 平成25年度かすみがうら市介護保険特別会計予算の討論を行います。

反対討論の通告がありますので、発言を許します。

8番 佐藤文雄君。

〔8番 佐藤文雄君登壇〕

○8番（佐藤文雄君）

議案第36号 平成25年度かすみがうら市介護保険特別会計予算に反対の立場で討論をいたします。

介護保険料が今年度から大幅に引き上げられました。対象となる65歳以上の市民からは余りに高くなった保険料に悲鳴の声が上がっております。

前回、私は地域支援事業費や市町村特別給付費を一般財源で賄うよう提案をいたしました。また、保険料の段階を12段階にして、応能によって被保険者の負担能力に応じた、きめ細かな保険料設定を行うなどで保険料の引き下げすることも要請をいたしました。しかし、問題は給付費の5割を保険料で賄う現行制度にあると考えます。この制度を抜本的に見直し、国庫負担の増額などによる充実こそが求められていると思います。そうしなければ国民の暮らしを支える制度として成り立たなくなっているのではないのでしょうか。

今回の介護保険特別会計予算に対する反対については、本当にこの国保負担の増額も必要だという立場で反対討論とします。

○議長（鈴木良道君）

以上で、通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ほかに討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第36号の採決を行います。

異議があるため起立により採決します。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長報告のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（鈴木良道君）

起立多数であります。

よって、議案第36号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第37号 平成25年度かすみがうら市水道事業会計予算の討論を行います。

反対討論の通告がありますので、発言を許します。

8番 佐藤文雄君。

[8番 佐藤文雄君登壇]

○8番（佐藤文雄君）

議案第37号 平成25年度かすみがうら市水道事業会計予算に反対をする立場で討論します。

一般会計からの補助金が年々削減されていますが、これでは低廉な水道水の提供が難しくなるのではないのでしょうか。私は、水道会計の健全な運営には欠かせないと考えております。一般会計からの補助金の目的には営業助成もあり、特に旧霞ヶ浦町では、上水道事業における高料金対策として繰出基準に基づいて一般会計から繰り入れもされていた経緯もあります。今回のこの補助金削減額は500万円であります。この500万円は、この水道事業会計に大きな影響を及ぼすと考えておりまして、反対をいたします。

○議長（鈴木良道君）

以上で、通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ほかに討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第37号の採決を行います。

異議があるため起立により採決します。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長報告のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（鈴木良道君）

起立多数であります。

よって、議案第37号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第38号 茨城消防緊急無線・指令センター運営協議会の設置についての討論を行います。

反対討論の通告がありますので、発言を許します。

8番 佐藤文雄君。

[8番 佐藤文雄君登壇]

○8番（佐藤文雄君）

議案第38号 茨城消防緊急無線・指令センター運営協議会の設置について反対の立場で討論をいたします。

日本共産党は、昨年の総選挙で災害対策について「大規模な災害発生に当たって、消防や警察などの救援部隊を全国的に派遣する体制は急速に整備されてきました。その反面、地域の防災対策を日常的に点検・強化し、災害発生時には被災者救助の中心的役割を担う市町村消防の体制は、職員の不足が常態化しており、広域化による市町村災害対策本部との連携や地理不案内による初動態勢のおくれなどが懸念されています。防災行政無線の整備を含め、消防職員の増員や消防水利の整備など、消防力を強化することは地域の防災力にとって不可欠です。ボランティアを含めた住民の知恵と力を取り入れ、地域防災計画を見直し、高齢者や障害者、住民の安全な避難など、地域の防災対策を強化します」としております。

茨城の場合、消防の広域化と消防救急無線のデジタル化が一体的に進められております。余りにも広大な地域を対象としているため、水戸の指令センターでは、遠く離れた、地理も不案内の地域で起きた火災や救急患者の通報を受け、部隊に指令を出す。「1秒を争う指令・出動に支障が出ないのか」との不安の声が上がっております。

莫大な費用負担も問題です。共同指令センターの整備費に48億円、消防緊急無線整備費69億円と試算されております。デジタル化と合わせて、今後5年以内に市町村消防本部も負担を強いられることになります。実施するにしても財政措置を国に求めるべきではないでしょうか。

デジタル化が必要だとしても広域化には問題が多くあります。市町村の消防充足率の強化こそ大事であり、広域化は逆行すると思います。デジタル化に伴う莫大な費用について、国と企業の負担をふやし、中小企業優先で工事を発注することなども必要だと考えます。

以上、討論といたします。

○議長（鈴木良道君）

以上で、通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

ほかに討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第38号の採決を行います。

異議があるため起立により採決します。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（鈴木良道君）

起立多数であります。

よって、議案第38号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第39号 新市建設計画の変更についての討論を行います。

反対討論の通告がありますので、発言を許します。

8番 佐藤文雄君。

〔8番 佐藤文雄君登壇〕

○8番（佐藤文雄君）

議案第39号 新市建設計画の変更について反対の立場でございます。

私は、何よりも小中学校の統廃合については、地域住民の中で十分な議論がされてないと考えます。

したがって、学校施設統合の環境整備事業に合併特例債を持ち入ることには賛成できません。

以上です。

○議長（鈴木良道君）

以上で、通告による討論は終わりました。

続いて、賛成討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

ほかに討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第39号の採決を行います。

異議があるため起立により採決します。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長報告のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（鈴木良道君）

起立多数であります。

よって、議案第39号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木良道君）

続いて、議案第41号 平成24年度かすみがうら市一般会計補正予算（第10号）に、討論を行います。

初めに、反対討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

続いて、賛成討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

討論を終結いたします。

これより議案第41号の採決を行います。

本案に対する委員長の報告は可決であります。

本案は委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、議案第41号は原案のとおり可決されました。

日程第 2 閉会中の所管事務調査について

○議長（鈴木良道君）

日程第2、閉会中の所管事務調査についてを議題といたします。

各常任委員会委員長及び議会運営委員会委員長より、お手元に配布したとおり、閉会中の所管事務調査の申し出がありました。

お諮りいたします。

各委員長からの申し出のとおり、閉会中の所管事務調査とすることにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木良道君）

ご異議なしと認め、各委員長からの申し出のとおり、閉会中の所管事務調査とすることに決定をいたしました。

○議長（鈴木良道君）

これにて、本定……

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木良道君）

14番 栗山千勝君。

○14番（栗山千勝君）

自席からですが、これひとつ議長に注意してもらいたいんですが、私がここで質疑するしないというのは、うちの家庭とは全く関係ない話、そういう事務局職員がいるのであれば、議長から厳重に注意してもらいたい。議員をなめんじゃない。

○議長（鈴木良道君）

これにて、本定例会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。

それでは、これもちまして、本日の会議を閉じ、平成25年かすみがうら市議会第1回定例会を閉会いたします。

会期24日間にわたる慎重なご審議、ご苦労さまでした。

閉 会 午前11時46分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

かすみがうら市議会議長 鈴 木 良 道

かすみがうら市議会議員 岡 崎 勉

かすみがうら市議会議員 山 本 文 雄

かすみがうら市議会議員 田 谷 文 子